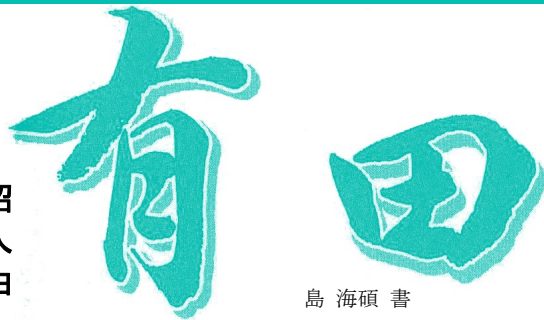


No. 3127

2025-2026年度

会 長 木本 隆昭
幹 事 児嶋 正人
クラブ広報小委員長 福田 一由



島海碩書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020

創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



UNITE
FOR
GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-2026年度クラブ方針

「例会に出席しよう

みんなに会おう」



～ 次回のお知らせ ～

令和7年9月18日 第3129回

- ・月見例会（於：Spicecurry Jin）
- 外部卓話：樫原 仁氏
- ・ソング：「我等の生業」

本日のプログラム

令和7年9月11日 第3128回

- ・ガバナー公式訪問「ガバナーアドレス」
- 国際ロータリー第2640地区 北野治義ガバナー
- ・ソング：「四つのテスト」

前回の報告（第3127回例会）

開催日 令和7年9月4日(木)

点 鐘 [木本会長]

今月の誕生祝

[クラブ管理運営委員会 橋爪(誠)委員長]

会員誕生：菅原 佳典君(9/6)、酒井 雄亮君(9/9)

配偶者誕生：福原 久美さん(9/13)、

中村 有香さん(9/25)



9月お誕生日

菅原 佳典君

おめでとうございます！



ニコニコ箱の報告

[川口SAA]

木本君：成川暢彦先生、本日の卓話宜しくお祝い致します。

児嶋君：成川暢彦君、本日の卓話よろしくお祝い致します。

成川(守)君：成川暢彦会員、イニシエーションスピーチご苦労さま。

石垣君：成川暢彦君、卓話楽しみにしています。

岩橋君：成川暢彦先生、卓話楽しみです。

上野山(捷)君：成川暢彦様、本日の卓話楽しみにしています。

橋爪(正)君：成川暢彦さん、所用の為、卓話を聞けなくて残念です。早退させて頂きます。

中村君：成川暢彦先生、卓話宜しくお祝いします。

宮井君：成川暢彦君、本日卓話よろしくお祝いします。楽

出席報告

[クラブ管理運営委員会 松村副委員長]

本日の出席者19名/24名

(うち出席規定免除者7名/7名)

会長の時間

[木本会長]

9月はロータリーの「基本的教育と識字率向上月間」です。今日は、この、「基本的教育と識字率向上の重要性」についてお話します。識字率という言葉ですが、私はロータリークラブに入会するまであまり聞いたことがありませんでした。こんなにも重要な事なのになぜでしょうか。日本の識字率は戦後の義務教育の普及により「ほぼ100%」とされています。ほぼ100%



のため、日本国内の社会問題として取り上げられることが少なかった事が要因だと思います。

識字率とは、ある国や地域において文字の読み書きができる人の割合のことです。国際的には、ユネスコが定義する「日常生活で用いられる簡単に短い文章を理解して読み書きできる15歳以上の成人」の割合を指すことが多いですが、国や専門機関によって定義は異なります。識字率は、その国の教育水準や社会基盤の成熟度を示す重要な指標とされています。

識字率により一般的に次のようなことがわかります。

1.教育水準の指標

・読み書きができる人の割合を示すことで、教育がどの程度行き届いているかを測ることができます。

2.生活水準の指標

・読み書きの低い国は、経済的・社会的に発展が遅れている傾向があり、貧困の悪循環に陥っている場合があります。

3.先進国と開発途上国の区別

・識字率が高い国は先進国、低い国は開発途上国であると判断されることが多く、特にサハラ以南アフリカなどでは識字率が低い地域があります。

「基本的教育と識字率向上」は、基本的な教育を受けられなかったり、成人に達しても読み書きができない人々が多く存在するという現実を踏まえ、教育機会の提供を識字率の向上を通じて、貧困の削減、健康状態の改善、地域社会に貢献することを目指すと言われています。教育の支援を必要とする人達、例えば、読み書きのできない15歳以上の人の数は、世界に7億7500万人で全世界の17%にあたります。しかも、学校に通っていない子供は世界に6700万人いると言われています。地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるように支援することがRIの目標です。

ロータリーの活動としては次のような例があります。

ロータリーの奨学金

明日の变革を担う人材を育てるために、奨学金を通じて未来に投資しています。

教員への研修

会員自らの経験と知識を生かしながら、社会的・経済的に恵まれない環境で教育に携わる人材を育成しています。

成人の識字率向上

地元の教育者や支援団体と協力し、読み書きを指導するプログラムを通じて成人の識字率向上に取り組んでいます。

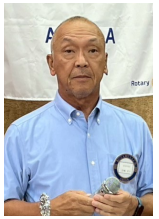
最後に、ロータリークラブ会員 Mark Wilsonさんの言葉を伝えます。

「読み書きを教えることは、一生使えるスキルを教えることです。その恩恵は、ひとり、またひとりと、地域全体に波及します。」

以上をもって、本日の会長の時間とさせていただきます。

幹事報告 [児嶋幹事]

- 1.財団室ニュース 9月号
- 2.国際ロータリー日本事務局・業務推進室 基本的教育と識字率向上月間リソースの案内が届いています。
- 3.田辺東RCから週報が届いています。
- 4.ロータリー文庫から、2024.7.1～2025.6.30 決算報告書が届いています。
- 5.例会変更の案内 後方掲示
- 6.9月のロータリーレートは、1ドル 147円です。
- 7.最後に例会終了後、第3回定例理事会を開催いたします。



委員会報告

※奉仕プロジェクト委員会[井上委員長]
国際大会の件

卓 話



会員卓話
成川 暢彦 君

「私のプロフィール」

有田ロータリークラブ入会前は2回卓話の機会をいただきました。今回、有田ロータリークラブ入会后、初めての卓話です。よろしくお願いします。

まずは自己紹介です。

職業は医師。役職は、医療法人千徳会 桜ヶ丘病院 理事長・院長、社会福祉法人守皓会 理事長、金沢大学医薬保健学域医学科 臨床教授です。

年齢は56歳、最終学歴は、金沢大学先進予防医学研究科 博士課程です。

趣味は、マラソン、お酒、映画鑑賞、ドライブ(サーキット走行)です。

家族構成は4人、息子2人(6年生・3年生)は、ありがたいことに息子2人とも医学部に通っています。

生い立ち、昭和44年1月22日生まれ、有田市箕島で出生しました。ぶっとく幼稚園、箕島小学校、西浜中学校、近畿大学付属和歌山高等学校に進み、一浪して金沢医科大学に入学しました。大学時代は、スキー部に属しました。クラブは、サークルではなく本格的な運動部(競技スキー)でした。毎日筋トレと厳しい中、夏は立山合宿、冬は、近くのスキー場に週2～3回練習に行き、西医体にも参加しました。また、車好きの友人も多く、楽しい大学時代を過ごしました。

大学卒業後は、和歌山県立医科大学研修医から腎臓内科に入局しました。恩師は児玉敏宏先生で、厳しいながらも、同じ病院の跡取りという境遇か、可愛がっていただきました。現在は児玉病院(和歌山県一の透析病院)の理事長として活躍されています。

そして、10年間腎臓内科でお世話になり、2005年4月に

桜ヶ丘病院に勤務することになりました。

ここで桜ヶ丘病院の歴史についてお話をさせていただきます。88年前、私の祖母が箕島寿町に成川医院(産婦人科)を開業したのが始まりです。1960年に箕島仲町に移転。1975年、私の父が院長を継承し北新町に新規開業しました。1981年千徳会に改称。1982年宮崎町に桜ヶ丘病院新規開業しました。2008年、私が院長就任、2015年6月現在の地(箕島904)に新築移転し、今に至っています。病床99床、職員数150名です。

また、同グループに社会福祉法人守皓会があり、特別養護老人ホーム田鶴苑・愛宕苑・橘苑とGH愛宕苑、さらに養護老人ホーム長寿荘の指定管理を2015年から受けています。現在、グループとしては、医療介護病床467床を有し、職員数450名ほどとなっています。

次に私の職歴ですが、2023年4月より、金沢大学医薬保健学域医学科の臨床教授を担っています。2017年4月、長男の大学受験に触発され、金沢大学大学院に入学したことがきっかけです。主に公衆衛生学の研究を行っています。今回、海外医学書にアクセプトされた私の論文を紹介させていただきます。

内容:石川県志賀町の住民3162人を対象に、各種ビタミンを中心とした微量摂取量とSF-36のサマリースコアとの関連性を調査した。

解析の結果、女性においては、すべてのビタミン摂取量とPCSスコアの間に正の相関がみられ、ビタミンB6、葉酸、ビタミンCとMCSスコアとの間に正の相関がみられた。

今回の結果から、女性のPCSスコアおよびMCSスコアは、ビタミン摂取量と強く関連していた。うつ病をSF-36のMCS、慢性疼痛をPCSと考えると、今回、因果関係は明らかではないが、ビタミン摂取不足が女性のQOLに及ぼす可能性が示唆された。という論文です。

医学研究には大きく分けて、臨床研究と基礎研究があります。臨床研究は、患者さんの検査所見や治療効果などを集積し、病気の予防、診断に関わる医療手段の有効性を確認したり、よりよい治療法の検証や開発を行うものです。一方、基礎研究は、マウスや培養細胞などを用いて生体の持つ機能を解析し、病気の根本となる因子や治療ターゲットとなる分子を搜したりします。両者はいずれも医学の進歩に不可欠であり、患者さんの治療に直結するような臨床および基礎研究が立案、遂行されることが重要です。

私の研究は基礎研究となります。

現時点では、因果関係は、不明。

今後、さらなるデータ収集と、また違う切り口からの関連性が認められることが、将来的なうつ病や疼痛疾患の予防につながる可能性があるということです。

このような研究の積み重ねが、医学の進歩につながっていくということです。

最後に、私の現在の公職・団体役職について紹介させていただきます。

和歌山透析医会 会長

金沢大学医薬保健学域医薬科 臨床教授

一般社団法人日本慢性期医療協会 理事

一般社団法人日本慢性期医療協会 全国青年部会 会長

和歌山県病院協会 理事

一般社団法人有田市医師会 副会長

和歌山県病院企業年金基金 副理事長

普段の業務もたいへんですが、特に今は、慢性期医療協会青年部会会長職と和歌山県透析医会会長職が忙しいです。

しかし、与えられたご縁として、日々、与えられた業務をこなしている毎日です。

閉会・点鐘

〔木本会長〕



有田3クラブ合同研修

2025年9月7日(日) 大阪・関西万博

